

- 2大目標 1、小川用水に会作成の案内板を設置する
2、小平市の用水路を「登録有形文化財」として登録する

- 4/7 (金) 用水ボランティア 新堀用水
/15 (土) 春のふれあいウォーク (東部地区)
/28 (金) 総会・4月定例会
- 5/12 (金) 用水ボランティア 小川用水彫刻の谷緑道
/14 (日) 「グリーンフェスティバル」参加
/20 (土) 春のふれあいウォーク (西部地区)
/28~6/4 ガーデニングコンテスト出品
「せせらぎ Message 11」印刷・発行
- 6/3 (土) 奥多摩植樹運動参加
/4 (日) 「身近な水環境全国一斉調査」参加
用水ボランティア 小川用水 小川緑地~水門
鈴木用水 小金井街道脇
- /20 (火) 小平市長・都市計画部長・水と緑と公園課長との懇談
/23 (金) 「都立薬用植物園を考える会」参加
- 7/7 (金) 用水ボランティア 小川用水 清風公園
/8 (土) 「大学生とNPOの出会いの場 in 白梅」参加
小川用水案内板設置 (予定)
社協「この指とまれ」参加
- 8 社協「この指とまれ」参加
- 9 懇談会 (市内緑関連の市民団体)
- 10/7 (土) 用水ボランティア (きれいなまちづくり部会の事業参加として)
/21 (土) 秋のふれあいウォーク (東部地区)
社協主催「子供ボランティアスクール」参加
「せせらぎ Message 12」発行
- 11/5 (日) 巣箱設置 (きれいなまちづくり部会の事業参加)
/18 (土) 秋のふれあいウォーク (西部地区)
「子供ボランティアスクール」参加
- 12~3 「子供ボランティアスクール」参加

毎月第1土曜日 10:00~12:00 用水ボランティア実施

第4水曜日 18:00~20:00 定例会実施

1、 第2回総会終わる

平成18年4月28日「こだいら 水と緑の会」第2回総会が開催され、次のことが全員一致で承認されました。

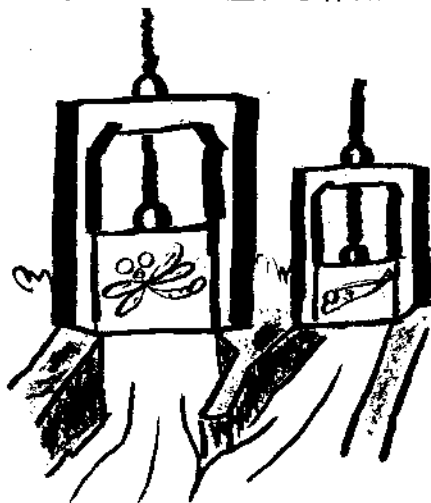
- ① 平成17年度活動報告
- ② 平成17年度会計報告
- ③ 平成18年度事業計画案・・・「平成18年度事業計画」として掲載
- ④ 役員人事はそのまま継続

2、 2大目標について

① 小川用水に会作製の案内板を設置する

昨年度設置の予定でいた案内板ですが、今年度中には設置できるよう努力します。今年度は「延命寺公園」・「小川緑地」等の整備にも入るので、そういう場所にも案内板を設置したいですね。製作中の事故も視野に入れ、会員の皆さんが作れる案内板の作成を目指したいと思います。アイデア溢れる作品にしたいですね。

また同時に「水門の色塗り」も計画しています。既に「事前の照会を得れば色を塗ってもよい」と公園課の許可をいただいています。今は存在の薄い水門ですが、綺麗に化粧直しすることで街の顔にしましょう。小川橋下と喜平町駐車場奥の水門は目立ちませんが、小川町と武蔵野荘前の水門は人目につくので、近自然の整備にうまく溶け込むような洒落たデザインを皆で考えましょう！！



② 小平市の用水路を「登録有形文化財」として登録する

「登録有形文化財」制度は、平成8年に文化庁が文化財保護法を改正して導入した新しい制度です。従来の「指定」文化財は使用したり活用することができませんが、「登録」はそれを緩やかに解釈し、手を加えたり生活の中で活用することが可能なものです。

小平市の用水路は350年の歴史を有し、流れる水は多摩川源流の綺麗な水です。また、土木技術から見ても「たぬき堀」・「築樋」・「サイフォン式」と高く評価できます。小平市も用水路の整備に前向きでいます。登録制度は、用水路を文化財として意義付け、かつ市民が憩える緑ある水辺環境として活用する

のに格好な制度といえます。何ととっても、用水路は小平市民の唯一とも言える共有財産です。用水路を「登録有形文化財」として登録することで、ふさわしい存在価値を与えたいと願ってやみません。

文化庁に問い合わせたところ「登録有形文化財」制度について次のことが分かりました。

- a、50年を経過したものであれば大体登録できる
- b、使いながら（活用しながら）残すことが最大の特徴であるが、例えば壊すことも可能だし、部分的に登録することも可能
- c、メリットとしては固定資産税が半減すること。デメリットは殆どなし。国の登録原簿への記載・証書発行・ブロンズプレート贈呈あり。
- d、登録対象は「建築物」と「記念物」に分かれ、申請者は所有者。申請時に専門家（建築家・郷土史研究家等）の簡単な説明と写真が必要。

現段階で小平市は国に登録申請する考えはなく、「小平市の中でなら」と消極的です。本制度導入に対しては「玉川上水を守る会」・「小平再々発見の会」等が賛同を表し、協働を申し出ています。用水路が部分的にせよ登録有形文化財として登録されれば、用水路に対する評価も高まり、認識も深まります。今後時間をかけて行政を説得する一方で、他の市民団体にも呼びかけるつもりです。

まずは小平市の「文化財保護条例」を改正し本制度を導入することを目標としますが、是非実現させたいですね。小平の用水路が登録有形文化財として登録される、考えただけでワクワクしますね！



会員募集中！！

「こだいら 水と緑の会」では会員を募集しています。当会は、市内を流れる用水路を「せせらぎ」として復活・保全することで、小平市により良い環境を残すことを目的としています。子供達が誇りに思える綺麗な街にしたい。それが私達の願いです。活動は多岐に亘っています。自然が好きな方、レイアウトが得意な方、竹トンボを作れる方 etc. きっと貴方にもできることが見つかります。ご一緒に活動してみませんか？

連絡先：045-345-6772 馬場

休憩時に

眼前の用水路を眺め
せせらぎの水音を聴きながら
どのような人々が
造り上げたの

市内総延長 55km を持つ用水路

こちらの流れは水路周辺も清掃されて
ご近所の皆様が唱歌の「春の小川」のように
親しんでおられる感じが感じられますと
益々ゆったりとした気分になります

流れの源流は、多摩川の本流

が羽村で取水され、玉川上水路を流れ、小平市西の端、
西部拝島線、玉川上水駅東側近辺の、東京都水道局、小平監視所
の水門から新堀用水として分水され、市内各用水路へ
多摩川の本流水が流れ下っております

また、眼前のこの流れは

どのような経路の旅を続けて行くのだろうか
等と想いを走らせて
至福の一時を味わっております

他市に無い

このような自然環境を
次世代の子供達に引き継ぐため
貴方のお知恵と行動力を
お貸しいただけると
幸いです

地元で、

出来る時、出来ることから、
子供達に残せる環境遺産の用水路
その活用・整備に
ご一緒に取り組んで
行きましょう

生活圏の拡大によって自然が圧迫を受けています。加害者は生活を送っている人。でも、加害者は自然の破壊により不満やストレスを受け、被害者にもなっています。

都市の中で暮らすことは、見知らぬ人との接触、無条件に心を許す人が少ない人間社会、箱型のビル、無駄のない構造物などによってストレスを受けやすい。癒しの空間であるはずの身近な自然が破壊されていることで、一層のストレスが加わるのです。

今の子供にとってはどうでしょうか？小さい頃の見慣れた風景を大人になっても求めるとよく言います。したがって「自然の少ない、ビルや人工物に囲まれた」環境を求める子が多くなるでしょう。

人工的なものは人が扱いやすいように出来ているから驚きは少なく、変化に対応できなくなっていくます。子供の目は驚きに溢れていて欲しい、その驚きに対応して育って行って欲しい。人工物に翻弄されず、自然のなかにある驚きや、楽しみを見出せる大人になって欲しいと思います。そういった場を多くつくるのが、豊かな暮らしに繋がるのではないのでしょうか？

子供の教育において、大切なのが模範となる人格です。しかし、総合人格はありません。どこかに欠点を持っています。父親や母親が模範となり、欠落が多いから反面教師にもなったし、365日の生活のなかで人格を養うことができました。公教育だけでは、知識の正確さのみを尊重するため人格形成においては欠落があります。日々の暮らしの中で社会的な能力と本能的な能力を磨くならば、暮らしの豊かさが必要なのです。その環境は破壊されつつあります。

豊かさとは、快適性や利便性ではなく、「生きがい」や「神秘的なものに驚く」環境があることだと思います。私は、自然の管理をすることが、暮らしの中の「生きがい」を作ることであると思っています。



京都府亀岡市を旅して来ました。京都市から山陰線で北に30分程いったところにある、山々に囲まれた盆地です。明智光秀が築いた城跡（豊臣秀吉に破壊され、石垣と堀の一部しか残っていない）が残る小さな城下町で、市街の一面に昔日の面影を忍ばせている箇所があります。本当に静かで、夕刻豆腐売りのラッパが鳴り響いたきり。朝、窓を開ければ色とりどりの緑を抱いた山々が連なり、清澄な空気が胸に溢れます。「いいなあ～」と思いました。日本の原風景ですよ。

行ったついでに保津川下りと洒落込もうとしたのですが生憎の雨。やむなくトロッコに乗ったのですが、乗車の最中、雨でも屋根付きの船は出ることを目撃し唾然としてしまったわけです。トロッコなら25分、船なら2時間ですが、緑もみじが目に美しく、どちらを取っても心は癒されること請け合いです。

子供が「家を出て行く」と言った時、正直内心は「！」です。ただ、これまで生きてきた教訓で、そういう時は「可愛い子供には旅させる」なのだどと覚悟していました。本当にそうですね。若い人が成長していく姿って素晴らしいし、私達中高年の力になりますね！！

亀岡市郊外には水田があり、菅笠を被ったおじちゃんやおばちゃんが丹精に苗を植えていました。畦ではカジカの鳴き声が聞こえます。携帯も時計も持たぬ旅でしたが、かえって連続とした時空を感じました。小平でも、子供達が成長した時に、「ここはいい街」と言ってくれたら嬉しいですね。



編集後記

済みません筆者は個人的に墓地闘争で忙しく、気力・体力共に今回はへろへろです。墓地って突然降ってくるのですよ。いや〜ね。でも、負けないけど。

個人的な話とはかく、「こだいら 水と緑の会」を見守ってほしいです。小平市をいい街にしたい、というのは皆さん同じだと思います。どうやればベターなのか、とかいつも考えています。会員も同じです。そういう人結構いそうだと思うのですが・・・。もっと多くの仲間と会いたいと思っています。

「用水路 昔語り」第1・2・3集販売中

一冊 200円

問い合わせ・ご意見箱：042-345-6772 馬場